

高齢者のがんを考える会議6 ～介護とがん医療の連携についての公開討論～

開催日 2022年2月26日、土曜日、10:00～12:00

Web開催（Zoom会議）

がんはすでに高齢者の慢性疾患になって久しく、がん医療の進歩により治癒例の増加がみられる一方で、がんと共生しながら他病死する高齢がん患者さんもまれではありません。その多くは加齢に伴う心身の機能低下のため見守りや介護を必要とする時期を経て死の転帰をとられます。すなわち、何らかの介護サービスを受けながらがん診療を受けている患者が存在し、その数は高齢化の進行とともに増加することが予想されます。

本討論会では、関係するステイクホルダーが一堂に会し、介護と医療の連携の重要性とあり方について議論することにしました。参加いただき活発な議論をおねがいます。

プログラム

1. 講演

司会 佐伯俊昭 埼玉医科大学国際医療センター 病院長

10:00～10:30

・「介護保険制度について」 村上文 帝京大学法学部法律学科 教授

10:30～11:00

・介護認定がん患者の入院治療（DPC）と退院後の介護サービスと診療について
松田晋哉 産業医科大学公衆衛生学 教授

2. パネルディスカッション

司会 佐伯俊昭 埼玉医科大学国際医療センター 病院長

杉本 研 川崎医科大学総合老年医学 教授

11:00～12:00

・悪性リンパ腫の治療方針～アンケート調査中間報告

照井康仁 埼玉医科大学血液内科 教授

・介護認定患者の外科治療～中間成績

吉田陽一郎 福岡大学病院医療情報部 診療部長、消化器外科 診療教授

・患者・家族の立場から

桜井なおみ キャンサー・ソリューションズ株式会社 代表取締役社長
全国がん患者団体連合会理事

・高齢者のがん医療、支持医療

高橋孝郎 埼玉医科大学国際医療センター支持医療科 教授

・在宅医療、介護サービス

廣瀬哲也 ひろせクリニック 院長

参加申し込み：<https://jp.surveymonkey.com/r/VKWC9JN>

2月21日までに名前、所属、e-mailアドレスを登録ください。

右QRコードからスマートフォンで申込みいただけます。

（会議が近づきましたらe-mailにてZoom会議用の招待URLを送付します。）



主催：厚生労働科学研究 がん対策推進総合研究事業

「高齢者がん診療ガイドライン策定とその普及のための研究」（研究代表 佐伯 俊昭）

共催：高齢者がん医療協議会（議長 田村 和夫）

連絡先：NPO 臨床血液・腫瘍研究会（CHOT-SG）内 研究事務局（福岡）

〒819-0030 福岡市西区室見が丘1丁目14番6号 電話:092-406-4166、FAX:092-406-8356

担当：安部元子、生駒規子；nikoma@fukuoka-u.ac.jp